

相談援助の基盤と専門職

問題 91 社会福祉士及び介護福祉士法に規定されている社会福祉士の義務等に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 資質向上の責務として、相談援助に関わる後継者の育成を行わなければならない。
- 2 秘密保持義務として、その業務に関して知り得た人の秘密は、いかなる理由があっても開示してはならない。
- 3 信用失墜行為の禁止として、所属組織の信用を傷つけるような行為をしてはならない。
- 4 連携保持の責務として、業務内容の変化に対応するため、知識と技能の向上に努めなければならない。
- 5 誠実義務として、個人の尊厳を保持し、自立した日常生活を営むことができるよう、常にその者の立場に立って、誠実にその業務を行わなければならない。

問題 92 「ソーシャルワークのグローバル定義」(2014年)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ソーシャルワークの発展は、西欧諸国を基準に展開する。
- 2 ソーシャルワークは、できる限り、「人々のために」ではなく、「人々とともに」働くという考え方をとる。
- 3 ソーシャルワークの基盤となる知は、単一の学問分野に依拠する。
- 4 ソーシャルワークの原則は、人間の内発的価値と尊厳の尊重から、多様性の尊重へと変化した。
- 5 ソーシャルワークの本質として人間関係における問題解決を図ることが新たに加わり、政策目標であることが明示された。

(注) 「ソーシャルワークのグローバル定義」とは、2014年7月の国際ソーシャルワーカー連盟(I F S W)と国際ソーシャルワーク学校連盟(I A S S W)の総会・合同会議で採択されたものを指す。

問題 93 ソーシャルワーク実践理論を発展させた人物に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ベーム(Boehm, W.)は、人間と環境の相互作用を基本視点とした生態学的アプローチを展開した。
- 2 ジャーメイン(Germain, C.)は、ソーシャルワークを本質的な観点から検討し、ソーシャルワークの活動を三つの機能に分類して定義化を試みた。
- 3 シュワルツ(Schwartz, W.)は、個人と社会の関係は共生的な相互依存関係であるとし、ソーシャルワーカーの媒介機能を重視する相互作用モデルを展開した。
- 4 ゴールドシュタイン(Goldstein, H.)は、価値の体系、知識の体系および多様な介入方法の3要素に基づくソーシャルワーク実践の共通基盤を提唱した。
- 5 バートレット(Bartlett, H.)は、システム理論を指向した一元的アプローチを展開し、後に認知的-人間性尊重アプローチを展開した。

問題 94 アドボカシーに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ケースアドボカシーとは、クライアントと同じ状況に置かれている人たちの権利を守るために、新たな制度を開発する活動である。
- 2 コーズアドボカシーとは、クライアントの権利を守るために、法的な手段を用いる活動である。
- 3 セルフアドボカシーとは、クライアントが自らの権利を主張していく活動である。
- 4 シチズンアドボカシーとは、同じ課題を抱えるクライアントの代弁や制度の改善・開発を目指す活動である。
- 5 リーガルアドボカシーとは、一人のクライアントの安定した生活を復権させる活動である。

問題 95 社会福祉施設等において、国により配置が義務づけられている専門職として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 介護老人福祉施設における薬剤師
- 2 母子生活支援施設における保健師
- 3 婦人保護施設における理学療法士
- 4 乳児院における看護師
- 5 地域包括支援センターにおける医師

問題 96 事例を読んで、D社会福祉士が抱える倫理的ジレンマとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

V病院はこの地域の急性期医療の拠点であり、複数の社会福祉士が働いており、円滑な退院支援を心掛けている。D社会福祉士が担当したEさんは一人暮らしの85歳の男性で、猛暑による脱水症状のため緊急搬送された。入院して10日目で全身状態は落ち着き、D社会福祉士にEさんの速やかな退院支援を行うよう依頼があった。Eさんは今回の入院で一人暮らしが不安になり、当面V病院での入院継続を希望している。困惑したD社会福祉士は、同僚のF社会福祉士にも相談することにした。

- 1 クライエントの利益に対する責任と、記録の開示
- 2 クライエントに対する責任と、所属機関に対する責任
- 3 同僚に対する責任と、専門性への責任
- 4 クライエントとの信頼関係と、信用失墜行為の禁止
- 5 守秘義務と、制度や法令遵守に対する責任

問題 97 事例を読んで、G社会福祉士がこの段階で行う対応として、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

地域包括支援センターのG社会福祉士は、「どこに相談してよいか分からない」という女性からの電話を受けた。電話の内容は、数年前からこの地区で一人暮らしをしている母親(72歳)を心配した、遠隔地に住む娘からのものであり、以下のことが話された。「母親に認知症の初期症状がみられるようで、ゴミを出す日を間違えたり、家の中も片づけられない。近所の人とゴミのことで口論となることもあり、今後この地区で、今までのように暮らしていくことができるか、また、家族としてどのようにしていけばよいか悩んでいる」。

- 1 アウトリーチ
- 2 モニタリング
- 3 ソーシャルアクション
- 4 ターミネーション
- 5 アセスメント